

2025年2月3日発行

フェアフレーストーリー

尊敬し合い、共に成長

7エアフレー☆ニュース

写真: アフロスポーツ



パラリンピックではシングルス、ダブルスで金メダルに輝いた上地選手が初めてパラリンピックの出場権を得たのは、ロンドン(2012年)のとき。大会終了後に引退するつもりだったといいます。

「出場することが夢でも目標だったのに、次は語学の勉強など新しいことを始めるつもりでした。でも、実際にパラリンピックで出てその考え方を覆されました。まず、開会式の雰囲気には圧倒されました。また、パラリンピックではテニス以外の競技の人達と一緒に選手村にいることがとても新鮮で、いろいろな国の人と交流するなかでスポーツのすばらしさをあらためて知ることができました」
そうして選手は四大大会においてもシングルス9勝、ダブルス21勝、年間グラン_dstラムを達成していますが、「ほかの選手のショットの打ち方などを見て、『私も試してみよう』と思うばするほどできることが増えるので、心を持って取り組んでいます。練習すれば生まれつきの病気で車いす生活をしており、10歳のときに車いすバケットボールと出会い、11歳から車いすテニスに転向。このころ「4時間連続でコートに球出しをしてもらつたことも。試行錯誤しながらボールを打つていると全然飽きなくて。逆

手生活を続けることを決意。徐々に

戦績を上げ、パリ(2024年)ではシングルス、ダブルスともに金メダルに輝きました。

上地結衣選手
プロ車いすテニスプレイヤー
三井住友銀行所属



フェアプレー宣言しました



くるま車いすテニスとテニスのルール。違います?
A コートの大きさ B ネットの高さ C 返球は2バウンドまでOK
A 車いすテニスとテニスはコートの広さもネットの高さも同じですが、違うのがバウンド。車いすテニスは、相手の球を打ち返す前に2バウンドまで認められています(テニスは1バウンド)。

★左上に出てくる「タップしてスタンプをゲット」をタップしてスタンプラリーに参加。年に9回発行されるすべての「フェアプレーニューススタンプ」を集めてオリジナルフォトフレームをゲットしよう!

【答えC】



フェアプレー
キャンペーン
TOPページ

→ フェアプレーニュース
見たいニュースを見つけてね
→ フェアプレー宣言
「宣言する」をクリックしてね



スマホやタブレット端末を活用。新しくなった「フェアプレーニュース」の詳しい使い方や注意点などは、こちらから



フェアプレーニュース 第165号
2025年2月3日発行(次回は2025年3月3日発行予定です)
フェアプレーニュースは、スポーツ振興くじの助成を受けて制作・配送をしています。
企画:JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会) https://www.japan-sports.or.jp/